



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	20,437	0.8	12		121	1.8	347	
2019年3月期第1四半期	20,276	0.2	20		123	75.1	19	94.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 138百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 29百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	5.64	
2019年3月期第1四半期	0.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	74,944	35,683	47.3
2019年3月期	77,654	36,042	46.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 35,483百万円 2019年3月期 35,833百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		2.00		8.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		5.00		8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期第2四半期末配当金(予想)の内訳 普通配当2円00銭 記念配当3円00銭  
詳細は、2019年5月8日公表の「創業百年」記念配当に関するお知らせをご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	3.0	100	66.8	200	56.5	200	10.4	3.24
通期	93,500	3.5	2,200	10.5	2,400	7.0	1,600	18.9	25.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	66,829,249 株	2019年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,140,837 株	2019年3月期	5,140,738 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	61,688,437 株	2019年3月期1Q	61,688,933 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用情勢の着実な改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦や中東情勢不安など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、都市部を中心とした大型再開発案件の進行やインバウンド需要拡大による効果が期待されますが、人手不足や資材不足などによる工期の遅れが顕著となり、引き続き楽観が許されない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画『SHINKA-100』フェーズⅡ(2018～2020年度)において、3つの「SHINKA」(進化・深化・真価)をベースとした重点戦略に取り組んでおります。フェーズⅡの2年目である当期の第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高20,437百万円(前年同期比0.8%増)、営業損失12百万円(前年同期 営業損失20百万円)、経常利益121百万円(前年同期比1.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、販売子会社の本社移転に伴い固定資産売却益を計上したこと等により347百万円(前年同期比1,685.1%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

#### <プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、前期に発売したデザイン性・機能性を高めた新製品群が市場に浸透し、売上を伸ばしております。

塩ビ床材では、「ヒトエ」「ケアセーフNW」等のワックスメンテナンス不要のビニル床シートや置敷きビニル床タイル「ルースレイタイル」の売上が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

カーペットでは、宿泊施設の増加に伴いロールカーペット及びタイルカーペットの売上が好調に推移しましたが、オフィス需要での納期の遅れなどにより、売上高は前年同期を下回りました。

壁装材では、主力の見本帳である「VS」及び「パワー1000」が売上を牽引し、売上高は前年同期を上回りました。

カーテンは、5月に新総合見本帳「フフル」を発売し、迅速な立ち上げに向けて販促活動に注力しましたが、カーテン全体の売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は12,416百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

利益面では、販売価格の改定や基幹システム更新による業務効率化などに取り組んだことにより、セグメント利益は274百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

#### <インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸事業におきましては、カーテンレール・ブラインドの仕入売上が好調であり、工事事業につきましても堅調に推移しました。また、中国市場における販売を担う東璃(上海)貿易有限公司は、引き続き売上を伸ばしております。しかしながら、昨年12月末にダイヤ・カーペット㈱を解散したことに伴い、インテリア卸及び工事事業の売上高は13,037百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

利益面では、販売価格の改定に取り組みましたが、需要期に向けた販促活動強化のための販売促進費及び見本費の増加等により、セグメント損失は0百万円(前年同期 セグメント利益26百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## &lt;資 産&gt;

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,543百万円減少し、46,006百万円となりました。これは主に、季節変動に伴い売上債権が減少したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,166百万円減少し、28,937百万円となりました。これは主に、販売子会社の本社移転に伴い土地及び建物等を売却したことによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,710百万円減少し、74,944百万円となりました。

## &lt;負 債&gt;

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,513百万円減少し、29,047百万円となりました。これは主に、季節変動に伴い仕入債務が減少したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ837百万円減少し、10,213百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,350百万円減少し、39,261百万円となりました。

## &lt;純資産&gt;

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ359百万円減少し、35,683百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月8日公表の業績予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,825	9,139
受取手形及び売掛金	27,065	23,191
商品及び製品	8,414	9,127
仕掛品	1,187	1,342
原材料及び貯蔵品	1,660	1,883
その他	1,453	1,370
貸倒引当金	△56	△47
流動資産合計	47,550	46,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,119	6,434
機械装置及び運搬具(純額)	2,878	2,837
工具、器具及び備品(純額)	400	401
土地	9,556	9,029
建設仮勘定	1,048	648
その他(純額)	60	54
有形固定資産合計	20,063	19,406
無形固定資産		
ソフトウェア	1,543	1,462
その他	107	105
無形固定資産合計	1,650	1,568
投資その他の資産		
投資有価証券	5,237	4,959
繰延税金資産	912	901
その他	2,339	2,202
貸倒引当金	△99	△99
投資その他の資産合計	8,390	7,963
固定資産合計	30,104	28,937
資産合計	77,654	74,944

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,098	22,080
短期借入金	2,070	2,870
未払法人税等	355	111
未払費用	1,704	1,447
賞与引当金	761	203
環境対策引当金	7	7
その他	2,562	2,326
流動負債合計	30,560	29,047
固定負債		
長期借入金	4,555	3,755
退職給付に係る負債	3,881	3,870
その他	2,614	2,588
固定負債合計	11,051	10,213
負債合計	41,612	39,261
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	21,975	21,830
自己株式	△1,122	△1,122
株主資本合計	34,135	33,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,748	1,544
為替換算調整勘定	△3	△1
退職給付に係る調整累計額	△46	△49
その他の包括利益累計額合計	1,698	1,493
非支配株主持分	208	200
純資産合計	36,042	35,683
負債純資産合計	77,654	74,944

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	20,276	20,437
売上原価	14,696	14,799
売上総利益	5,580	5,637
販売費及び一般管理費	5,600	5,650
営業損失(△)	△20	△12
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	72	91
仕入割引	19	19
保険配当金	46	40
その他	64	60
営業外収益合計	204	213
営業外費用		
支払利息	19	18
売上割引	31	32
為替差損	—	24
その他	8	4
営業外費用合計	60	79
経常利益	123	121
特別利益		
固定資産売却益	—	986
特別利益合計	—	986
特別損失		
固定資産除却損	57	7
固定資産圧縮損	—	592
投資有価証券評価損	5	—
特別損失合計	63	600
税金等調整前四半期純利益	60	507
法人税、住民税及び事業税	27	62
法人税等調整額	15	102
法人税等合計	42	164
四半期純利益	18	343
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	347



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	18	343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△203
為替換算調整勘定	△1	1
退職給付に係る調整額	13	△2
その他の包括利益合計	△47	△204
四半期包括利益	△29	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27	143
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△4

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,092	13,183	20,276	—	20,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,152	73	5,225	△5,225	—
計	12,245	13,256	25,502	△5,225	20,276
セグメント利益	244	26	271	△147	123

(注)1 セグメント利益の調整額△147百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,470	12,967	20,437	—	20,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,946	70	5,016	△5,016	—
計	12,416	13,037	25,454	△5,016	20,437
セグメント利益又は損失(△)	274	△0	274	△152	121

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△152百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。